学校法人ニューライフ学園 学童クラブ『スカイマスター』 要 項

2025年8月改

1. 施設の目的及び運営の方針

(1) 運営主体(事業者の概要)

事業者の名称	学校法人ニューライフ学園
事業者の所在地	横浜市神奈川区白楽 109-4
事業者の連絡先	045-432-0640
代表者氏名	角和麻衣子

(2) 施設の概要

放課後児童クラブ		
学童クラブスカイマスター		
横浜市神奈川区白楽 5-29 ニューライフ東白楽 105 号室		
(代表) 045-432-0640		
(携帯電話) 080-4325-9281 (学童開所時間内)		
角和麻衣子		
2014年4月		
35 名		
☆「スカイマスター」は、就労中の保護者の皆様のベストパートナ		
ーとして、小学生の放課後のひとときを温かい雰囲気の中で安心		
に安全に、そして学童期にとって「意義ある生活の場」となるこ		
とを目指した運営を行って参ります。		
☆「スカイマスター」の生活は、晴(ハレ)と穢(ケ)の考え方を		
根底に置いた運営を行って参ります。		
「晴」とは非日常を示し、主に年中行事です。「穢」とは日常の		
生活を示します。		
日常の生活を淡々と送りつつも、その中に四季折々の変化を取り		
入れる事で、人生を彩り、生活を楽しみます。		
☆「スカイマスター」の生活では、次の5つを育むことを目標とし		
ます。		

1	丈夫な体
2	豊かな創造力
3	自分で考え、行動する力
4	友だちを思いやる心
5	日本の文化を体得する

(3) 施設の概要

	ニューライフ幼稚	園	3 9 3 5 . 1 0 m²
敷地	ニューライフ		02
	東白楽 105 号室		O m²
			鉄骨造銅板ぶき 2 階建
	ニューライフ幼稚園	構造	鉄骨造スレートぶき 2 階建
7-1+ 14/m			鉄骨造陸屋根平家建
建物		延べ	1 6 8 0 . 9 4 m²
	ニューライフ東白楽	構造	鉄骨造スレートぶき 2 階建
	105 号室	延べ	6 4 . 8 m²

(4) 職員体制 (2025年8月1日現在)

職種	員数	常勤	非常勤	備考
放課後児童支援員資格者	5 人	3 人	2 人	学士・修士・博士
保育士資格者	2 人	2 人	0 人	学士
幼稚園教員免許者	3 人	2 人	1人	学士・修士
公認心理師資格者	2 人	0 人	2 人	修士・博士

ただし、行事等の日には、臨時に応援者を配置することがあります。

(5) 提供する日及び時間並びに提供を行わない日

提供する曜日	月曜日から金曜日まで(土曜日:不定期)
時間	午前8時00分~午後7時00分
	土曜日・日曜日・祝祭日
	年末・年始(12月29日~1月3日)
休業日	災害や感染症による学校の臨時休校日
	その他

(6) 利用料等

入会金	45,000円 ※更新料はあり	ません。		
防災費	1,000円 ※入会時のみ			
	正会員	23,000 円	月 16 日以上利用	
	準会員	19,000 円	月 15 日以下利用	
	月 6 会員	9,000 円	月 6日以下利用	
	バス利用料 (正・準会員)	2,000 円	通年月利用	
月謝	バス利用料 (月 6 会員)	500 円	通年月利用	
万 椒	代休、休校利用料	1,000 円	1回のご利用につき	
	会員種別変更手数料	5,000 円		
	※正会員、準会員、月6会員	員の月謝には加	 を設維持費が含まれています。 	
	※季節休暇(春、夏、冬休み)の別途徴収はいたしません。			
	※休会制度あります(規約に準ずる)			

(7) 支払方法

毎月、引き落としになります

(8) スカイマスターの一日

放課後 開所時間

- 下校時間に合わせて開所しています
- 季節休暇や代休日は朝8:00から開所しています
- 台風により休校になった場合も開所する場合があります

下校後 子どもたちが帰ってきます

- システムにより出欠確認を行います
- 体調の確認を行います

宿題

• 手洗い、うがい、お手洗いを済ませ宿題に取りかかります

宿題が終わった子どもから自由遊び

- 宿題(予習・復習)を済ませたら自由時間となります
- 外遊びは、ニューライフ幼稚園の園庭・松林で思いきり遊べます
- 室内でのんびり過ごすこともできます (園舎 2 階の専用遊戯室で遊ぶこともできます)

おやつの時間

• 季節のおやつを楽しむこともあります

お掃除

皆で協力しながら掃除をします

お迎え時間

• 保護者様のお迎えを待ち、ゆったりとした時間を過ごします

19:00 閉所

(9) 利用の開始及び終了に関する事項及び利用に当たっての留意事項

利用者の内定	施設の管理者が定めた選考方法による		
利用決定	利用契約書の締結による		
11711 DC AL			
	○保育料を 2 ヶ月以上滞納したとき		
	○アレルギー等お子さまの健康状況や既往歴に関して情報提供いた		
	だけない、あるいは虚偽の情報を提供したとき		
退所理由	○緊急時の連絡がとれない状況が繰り返されたとき		
	○問題行動により、他のお子さまへの危害が予見されるとき		
	○その他、施設管理者において、利用継続の重大な支障又は困難が		
	生じたと判断されたとき		
	○入所前にアレルギー等既往歴に関する情報提供をいただきます		
	○入会申込において、施設指定の書類をご提出いただきます。		
	○当施設には要配慮児のための専任職員がおりませんので、要配慮		
利用に当たっての	児の受け入れができない場合があります		
留意事項	○問題行動により、他のお子さまへの危害が予見されるときには受		
	け入れができない場合があります		
	○受け入れの諾否について理由は開示いたしません		
	その他、利用にあたっての留意事項は、後述のとおりです。		

(10) 嘱託医

医療機関の名称	横浜かんだいじファミリークリニック
医院長名	河野真二
所在地	横浜市神奈川区神大寺 1-13-46 神大寺メディカルスクエア
電話番号	045-491-2020

(11) 非常災害対策

	○各学校で実施される「引き取り訓練」の際には、当施設にて引き
	取りに参ります。ただし、実際に災害が発生した際は、保護者さ
	まにて引き取りをお願いします。
引き取りについて	○当施設での活動中に災害が発生した際、子どもたちは基本的には
	ニューライフ幼稚園内で待機予定です。ただし、状況によっては
	待機場所を変更する場合もございます。その際は、その都度ご確
	認下さい。
	以下の順に避難します。
避難場所	第1避難場所 ニューライフ幼稚園園庭
	第2避難場所 二谷小学校
	第3避難場所 県立神奈川工業高校

(12) 相談・要望・苦情窓口

相談・苦情受付担当者	A 和 麻 太 7.	(代表) 045-432-0640
相吹 古朋文刊担目有	用和M 私于	(携帯電話) 080-4325-9281 (学童開所時間内)

(13) 賠償責任保険の加入状況

以下の保険に加入しています。

保険の種類	普通保険 (留守家庭児童団体傷害保険)		
保険の内容	死亡・後遺傷害・入院・通院		
	死亡・後遺傷害 700万円		
保険金額	入院保険金日額 10万5千円		
	通院保険金日額 7万円		

(14) 個人情報の取り扱い

本施設及び職員は、サービス提供をする上で知り得た利用者及びその家族の情報を正当な 理由なく第三者に漏洩することはしません。この守秘義務は利用者が本施設を退所した後 も継続します。

なお、個人情報の取扱については、申込書と一緒に配布の「肖像権、個人情報の取り扱い について」において確認のうえご承諾いただきます。

(15) その他保護者に説明すべき事項

【利用料の納付】

- ○2ヶ月以上保育料を滞納した場合には退会となる場合があります。
- ○月の途中の入会・退会に関しましては、その月分の全額負担となります。
- ○自由選択による臨時徴収の場合はその都度ご連絡いたします。

【保険料】

○月額利用料に含まれています。

【施設への入退出】

- ○登録時刻に施設へ入所となります。お時間にお子さまがいらっしゃらないときには必ず 保護者さまへご連絡いたします。
- ○登録時間やお迎え者に変更が生じたときには必ず施設電話番号へご連絡ください。

【外出について】

- ○ニューライフ幼稚園の園舎・園庭を利用した遊びを体験するために外出する場合があります(基本的にはニューライフ幼稚園の敷地内・施設内において活動を行います。)
- ○ニューライフ幼稚園園舎内で開講する「学研教室」「英語であそぼう」への送り出しを行います。
- ○上記以外の習い事に関してはご提出いただいた「同意書」に基づき送り出しを行います。
- ○原則として習い事への送迎は行いません。

【病気・怪我の対応】

- ○持病等あるときには入会時提出の「健康情報票」に詳しく記入し同時にご申告ください。
- ○当施設で具合が悪くなったときには、保護者に連絡をとり、迎えに来ていただきます。
- ○怪我をした場合には必要に応じて当施設専用車にて病院へ連れて行くことがあります。
- ○投薬等の医療行為は行いません。

【連絡について】

- ○「子ども用 PASMO・Suica」をご購入、保護者も用意いただき、当施設へ登録します。 (門の解錠)
- ○お子さまの『スカイマスター』室への入退出時刻が、保護者の登録先へ報告されます。
- ○当クラブは学校法人が運営します。就労支援を柱に、日頃の保護者会などを必要最低限 に抑えつつ『連絡帳』『電話』『お迎え時の対話』等を活用してご家庭との連携を密にし て参ります。